

【取材依頼】

庭師のイメージを変えたい！三条市、31 歳、若手庭師の挑戦！

狭い庭を彩り、第 26 回庭空間施工例コンテスト全国受賞

帝樹園 庭正(三条市東大崎、代表:長橋 正宇)は、どういった庭を作るかではなく、お客様の声を庭で表現することをコンセプトに取り組む造園会社です。

この度、株式会社タカショー(本社:和歌山県海南市、代表取締役社長:高岡伸夫、東証一部 7590)が主催した全国の販売店、施工店、ハウスメーカー、工務店、リフォーム店、デザイン・設計事務所を対象にした「第 26 回 庭空間施工例コンテスト」において、応募総数 1,484 件、全 7 部門中、「リフォームガーデン・エクステリア部門」にて銅賞を受賞いたしました。(応募期間:2018 年 5 月～8 月末、結果発表 12 月 HP:<http://proex.takasho.co.jp/contest/26th.html>)



△代表:長橋正宇、31 歳



△銅賞受賞作品

～コンテストへ応募しようと思ったきっかけ～

造園業を営む中で、近年の新築では、敷地の狭さを理由に庭を作る世帯の減少、昔よりも小さなスペースで庭造りする世帯が増えているように感じています。

お客様は自分の庭を理想の形に手掛けたいと望んでいるにも関わらず、「庭師はハードルが高い」、「小さなスペースでも依頼できるのか不安」「木を 1 本だけでも植えたいが、スペース的に無理だと諦めかけていた」など、庭師に対する敷居の高いイメージや、スペース的に無理だと諦めてしまう方が多いことが分かりました。

私は庭師として、「広さに関係なく、狭くてもお客様の夢の庭をつくりたい」と思い、そのことを多くの同世代の人々に知っていただけたらと思い、コンテストへ応募しました。今回銅賞を受賞した庭は、わずか 4 坪。

完成までお客様と約半年間の打合せを繰り返して作り上げたものです。

ライフスタイルの多様化から暮らしに緑を取り入れる傾向が多くなりつつありますが、実際には「敷地が狭いから庭は無理だろう」と諦めてしまうことが多いのは事実です。今回の受賞を多くの方に知っていただき、狭いスペースでも全国で評価して頂けるレベルまで庭を作りこむ事が可能であり、また庭師は決して敷居が高い存在ではなく、夢の庭をつくるためのパートナーであることを知っていただきたいと思っています。そして、庭師として、庭造りを通じた地元貢献ができればと思っています。

ご多忙とは存じますが、ぜひ取材いただけますようお願い申し上げます。

【問合せ】帝樹園 庭正 代表:長橋正宇

住所:三条市東大崎 1-2 0-3 電話:080-9374-1711

HP:「帝樹園 庭正」<https://teijuen-niwamasa.com/>